

令和5年度 第4回 運営推進会議開催報告書

開催日時 令和5年11月17日(金)		議 題
参 加 者		議 題
利用者	6名	(1) 入居者状況
利用者家族	2名	(2) 活動状況(9月、10月)
市職員	1名	(3) 今後の予定(11月、12月)
はたやま地域包括支援 センター職員	1名	(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告
同行実習生	1名	(5) 身体拘束の適正化について
社会福祉協議会職員	1名	(6) ご意見・要望・提案・助言
同行実習生	1名	(7) その他
終訪問看護ステーション	1名	
みゆきファーマーシー薬剤師	1名	
事業所	3名	
会 議 録		
<p><u>事業所の特色</u> あかり理念 「心で通じる共想いケア」 <u>私達は感謝の気持ちと相手を思いやる心で、共想いケアを実践します</u> 認知症の症状をもった入居者様がそれぞれの役割を発揮し共同生活を送ることに よって、安定した生活を送れるように支援することを目的としています。 一人ひとりの生活リズムに合わせてその人らしさ、また持っている潜在能力を発揮 出来るように努め、共に歩むパートナーとして笑顔あふれる寄り添いのケアを目指し ています。</p>		
<p>(1) 入居者状況 10月31日現在 9名(男性:3名、女性:6名) 要介護1:3名 要介護2:2名 要介護3:2名 要介護4:2名 要介護5:0名 平均要介護度 2.3 平均年齢 84.6歳 ※1名9月4日 陶生病院～退院 1名9月8日 愛知医科大学病院～退院</p>		
<p>(2) 活動状況(9月、10月)</p>		
• 三浦内科クリニック往診	9月20日(水)、10月18日(水)	
• 終訪問看護ステーション訪問	9月6日(水)、20日(水)、27日(水) 14日(木)(訪問リハビリ)	
	10月11日(水)、18日(水)、25日(水) 4日(水)(訪問リハビリ)	

- 青木歯科往診 9月7日(木)、21日(木)
27日(水) (歯科衛生士)
10月5日(木)、19日(木)
25日(水) (歯科衛生士)
- みゆきファーマーシー訪問 毎週1回 (居宅療養管理指導…薬セット管理)
- ハート治療院訪問 週1~2回 (希望者にマッサージ治療)
- 運営推進会議 9月15日(金)
- 訪問理美容 10月23日(月)

行事

- 敬老会 (おはぎ作り) DS 合同 9月18日(月)
- お誕生日会 9月23日(土)
- お誕生日会 10月30日(月)

(3) 今後の予定 (9月、10月)

- 11月 誕生日会・防災訓練
- 12月 クリスマス会・訪問理美容 その他

(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告

- 苦情 0件
- 事故 1件：9月中旬 床に薬が落ちていた
- ヒヤリハット 1件：10月下旬 異食 塗布薬キャップを口に入れていた

(5) 身体拘束の適正化について

- 身体拘束なし
- 身体的拘束適正委員会
- 高齢者虐待防止のための介護職のマナー向上
「介護の向上を目指すチェックⅡ」
日々の心構えのケアについてチェックしましょう。
- 自己決定
- 自立支援

回答後振り返り行い、日々の心構えで、身体拘束の適正化について再認識を図る。

(6) ご意見・要望・提案・助言

【質問】

基幹型包括支援センター職員から

- 事故報告・落薬後の対応について
どのような対応したか？また今後の対応に関して話し合いをしましたか？

→ありがとうございます。スタッフ同士で情報共有をしました。

- ・自立の方に関しては錠剤を手に乗せて見守りながらひと粒ずつ飲んでいただいています。
- ・「飲んだ」と思っていたが、錠剤が落ちてしまっていた。
- ・今後は、必ず飲むまではその場を離れず、見守りをしていくことを徹底していく。

【ご意見など】

はたやま地域包括支援センターから

- ・コロナ検査を定期的に行っており職員の感染予防をしっかりとしている。
- ヒヤリ・薬のキャップを噛んだ件についてどうして居室にキャップがあったのか？
→座薬のクリームをパット交換時、すぐ塗れるようにタンスの中に入れていた。
「まさか」と思っていたが、自らタンスを開けてクリームを出していた。予測していなかったことが起きてしまった。その後はクリームの管理場所をかえ引き出しには入れていない。

〈実習生〉から

- ・「運営推進会議」があることを知らなかった。どんなことをやるのかを学習する為に参加した。活動報告、事故、ヒヤリなどしっかりスタッフ同士で共有しているところがこのGHを良くしているところだと思った。

瀬戸市社会福祉協議会から「基幹型包括」

- ・普段の生活の関わりの中で、予測しながら情報共有していくと良いかと思った。
- ・ヒヤリ、事故は起きてしまったことは仕方がないが、今後、どうしていくのかをしっかりと話し合い、共有していくことが大事。
- ・異食も突然おきることであり得ることだと思った。
- ・日々のかかわりの中で予測していくことと、情報伝達は大事かと思った。

みゆきファーマシー（薬剤師）から

- ・〈高齢者人口が増えていることで〉
高齢者が薬を扱いやすくてできるよう、キャップが開けやすくなっている。薬の大きさが小さくなっているので取り扱いに、用途によっては気をつけてほしい。風邪薬が不足している為、手洗いうがい等して感染予防に努めていただければと思った。

柊訪問看護ステーション（看護師）から

- ・訪問時に利用者様の食事、排泄時の様子を伺いアドバイスしている。
- ・皮膚もととてもきれいにケアをしている。
- ・食事量にムラがあったり、水分が摂れないところを、スタッフが声をかけて促しているので、利用者も調子良く過ごされていると思う。

入居者ご家族様から

- ・本人（ご主人）さんが、いつも穏やかな表情をされており、笑顔も見られるようになり嬉しい。

入居者ご家族様から

- 夏に救急搬送した時、すぐに行くことが出来なかったが、管理者がついてくださり本当に助かった。
- 一人一人のことを考えてやってくださる。
- 母の手、つめがきれいになっている。きれいに手入れしていただき感謝。この施設(あかり)に来てよかった。

リーダーから

- 薬のアクシデントがあったが、早急に情報共有をしていきたい。皆さんの意見を聞いて振り返ることができて良かった。

管理者から

- スタッフの都合、本人の都合で対応することについてどのように見極めて、対応していくかが今後の課題。あかりに住んでいる皆様が安全で居心地よい場所にしたい。
- 事故は起こりえるので、起きた時(発生時)には、きちんと説明し、お互いに誤解のないようにしていきたい。情報共有が大事だと思った。

(7) その他

- 介護職員のPCR検査について
- 新型コロナウイルス感染症スクリーニング検査(抗原検査)を10月・11月 週2回実施しています。

次回開催予定 令和6年1月19日(金) 14:00~